



各 位

平成 18年 4月 4日

会 社 名 任天堂株式会社

代表者名 取締役社長 岩田 聰

(コード番号 : 7974 東証・大証第1部)

問合せ先 専務取締役経営統括本部長 森 仁洋

(TEL. 075 - 662 - 9600)

通期業績予想ならびに期末配当予想の修正に関するお知らせ

為替相場の動向等を踏まえ、平成17年11月24日の中間決算発表時に公表した平成18年3月期（平成17年4月1日～平成18年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正しました。さらに、平成18年3月期（第66期）の配当予想について、1株当たりの期末配当金を300円、年間配当金を370円とし、前期に比べ100円の増配と予想を修正しましたので合わせてお知らせします。

記

1. 平成18年3月期 通期業績予想の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(1)連結業績予想数値の修正

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	500,000	125,000	75,000
今回修正予想(B)	500,000	160,000	95,000
増減額(B - A)	-	35,000	20,000
増減率(%)	-	28.0	26.7
前期実績(平成17年3月期)	515,292	145,292	87,416

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 736円 13銭

(2)個別業績予想数値の修正

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	390,000	95,000	60,000
今回修正予想(B)	410,000	150,000	90,000
増減額(B - A)	20,000	55,000	30,000
増減率(%)	5.1	57.9	50.0
前期実績(平成17年3月期)	443,044	134,123	80,005

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 697円 32銭

(3)修正の理由

連結においては主に為替レートが想定より円安に推移し、前回発表より為替差益が大幅に増加するため、経常利益及び当期純利益が増加する見通しとなりました。個別ではこの為替差益の大幅な増加に加え、国内での携帯型ゲーム機「ニンテンドーDS」の販売が好調に推移したことなどにより、売上高、経常利益及び当期純利益が増加する見通しとなりました。

なお、使用した期末レートは1ドル=117.47円、1ユーロ=142.81円です。

2. 平成18年3月期(第66期)の期末配当予想の修正

(1) 平成18年3月期(第66期)配当金

	前回予想 平成17年11月24日公表	今回予想	(参考)前期実績 (平成17年3月期)
1株当たり中間配当金	70円	(70円)	70円
1株当たり期末配当金	70円~	300円	200円
1株当たり年間配当金	140円~	370円	270円

平成17年12月に中間配当金として、1株につき70円をお支払いしました。

(2) 修正の理由

当社では、株主の皆様への直接的な利益還元については、各期の利益水準を勘案した配当により実施することを基本方針としています。平成18年3月期(第66期)の配当金については、連結営業利益の33%を配当金総額の基準とし同期期末時点で保有する自己株式数を差し引いた発行済株式数で除した金額の10円未満を切り上げた金額か、もしくは連結配当性向50%を基準として10円未満を切り上げた金額の、どちらか比較して大きい方を、1株当たり年間配当金として決定します。上限の設定はしませんが、1株当たり年間配当金の下限は140円とします。

この基本方針に従い業績が今回発表の予想通りになりますと、主に為替差益が当初の見込みより大きくなると予想される影響により、連結配当性向50%を基準として10円未満を切り上げて求める方針を採用することになります。その結果、平成18年3月期(第66期)の1株当たり年間配当金は370円、1株当たり期末配当金は300円となり、前期に比べ100円の増配となる見通しとなりました。

なお、当該会計年度の業績は未だ確定していませんが、より現実に近い配当予想とするため、上記の通り修正を行うものであります。

予想に関する留意事項

本資料の見通しは、現時点での入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。実際は、様々な要因の変化により、これの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知の上、投資判断を下される様お願い致します。

以上